



みつぎ便り



第218号 11月号 令和6年11月1日発行 http://itbs-ecopo.jp/environsurvey_report

板橋区役所南部土木サービスセンターの花づくりグループとエコポリスセンターのかんきょう観察員地域自主活動グループに所属しているボランティア団体「見次の会」です



イヌタデ

見次公園のシェア自転車の反対側にある茂みを覗くと、枝先に紅紫色の小花が穂になってついている植物を見つけました。イヌタデです。

タデ科の一年草で花期は七月〜十月で、花の紅紫色の所はがくで、花弁はありません。茎は根ぎわで分枝し、さらに茎の途中からも枝を出しむらがつた株になっています。

別名のアカマンマをご存じの方が多いいのではないのでしょうか。この花を見てみると、社宅の庭にゴザを敷いて、赤い花をお赤飯に見立てて、

おままごとで遊んだ昔のことを思い出します。

蓼食う虫も好き好きということわざがありますが、蓼の辛い葉を好んで食べる虫もいるように、人の好みも様々であることの例えです。薬味として古くから親しまれていたように、実際刺身に添えられている紫色の小さな葉はベニタデです。ヤナギタデによく似ているイヌタデは食用に適さなかったため、この名前が付いたようです。

公園の斜面の遊歩道を歩いていると、小さな白や黄色の野草の花々の所々に紅紫色の穂が見え、目を楽しませてくれました。(敦)

スッポン

池で膨らみがなく平らで小さな甲羅を持ち首が長い亀が目撃され、写真も撮られました。スッポンです。ところで、すっぽんと亀とは形が似ているけど何が違うのでしょうか。

一つめの違いは甲羅です。亀は立派で丸々と盛り上がった大きな甲羅を持っていますが、すっぽんの甲羅はほとんど平面と言えるような小さなものです。二つめは亀の皮膚は鱗うろこで覆われていますが、すっぽんは皮



膚が鱗で覆われていないことです。足を見ると違いはよく分かります。亀の足はケラチンで出来た固い鱗で覆われていますが、すっぽんの足はつるつるとしています。

すっぽんは池などいろいろな所で生息しています。すっぽんは泳ぎも上手く動きが敏捷びんしょうで甲殻類、水棲昆虫、小魚などを食べますが、植物も口にします。

すっぽんの寿命に関しては、長短様々な意見が入り乱れています。見次公園のスッポンは長生きしてくれと嬉しいですね。(薫)